

〇〇障がい特別支援学級 〇〇学級 〇〇〇〇指導案

支援学校では学部学年
学級を記載する。

教科名・指導の形態名
を記載する。

令和〇年〇月〇日（曜）第〇校時
（〇〇：〇〇～〇〇：〇〇）
指導者 教諭 〇〇 〇〇
支援員 〇〇 〇〇

1 単元名 「〇〇〇〇〇〇」

- ・児童生徒の視点に立った表現を工夫する。題材の場合は**題材名**とする。
 - ・活動がイメージしやすいような表現を工夫する。
- 例：「〇〇作り名人になろう」（会食・調理） 「すごろくを楽しもう」

2 単元の目標

- ・教科…学習指導要領の目標・内容に基づいて、育成する資質・能力の3つの柱で記述する。
- ・合わせた指導…単元（題材）を貫く目標を記述する。3観点で書かなくてもよい。

※自立活動の授業の場合は個人の目標を記述する。

※個々の児童生徒について記述する。

	児童の実態	単元の目標
A 〇年		【3－(4)・2－(2)】
B 〇年	・自立活動は個々の障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服するために必要な項目を選定して指導する。したがって、 全体目標でなく、個々にあった内容について実態に応じた個別の目標を設定する。 ・選定した自立活動の内容（6区分27項目）を【 】内に記述する。	

3 単元の評価規準

※抽出児童生徒について、2人以上記述する。

	教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 〇年	国語	・	・	・
	算数	・	・	・

- ・抽出児童生徒について、個別の評価規準を記述する。
- ・各観点の評価規準の数は1、2つ程度に精選する。文末は基本的に「～している」となる。

B 〇年	国語			
---------	----	--	--	--

- ・教科…この項目を削除してもよい。
- ・合わせた指導…単元で重点的に取り扱う各教科の評価規準（複数教科あったとしても重点教科3教科でよい）について記述する。（遊びの指導は各教科に分けずに記述してよい）
- ※道徳についてはこの単元で目標として取り扱う内容項目について、記述する。
- ※自立活動は個別の目標のため、ここには記述せず（「3単元の評価規準」を削除）、単元の評価規準は「2単元の目標」に記述し、本時の評価基準は「6(3)本時の目標と手立て」に記述する。

4 単元と指導の構想

(1) 単元（題材）と児童（生徒）

- ・単元（題材）に関わって児童（生徒）がどのような状態であるか（レディネス）を記述します。単元（題材）に関わるこれまでの学習履歴についても記述する。
- ・単元設定の意義と単元のもつ価値を明確にし、授業者がどのような単元観（どのような意図をもって授業を構成したか等）をもっているのかを記述する。記述にあたっては児童生徒の実態と、単元観を分けて記述してもかまわない。

(2) 指導の構想

- ・上記「(1) 単元（題材）と児童（生徒）」を受け、どのような手立てや工夫を講じて学習を進めていくのかを具体的に記述する。

5 単元（題材）の指導計画（全〇時間 本時4／〇）

- ・教科…< >の入力の必要なし。
- ・合わせた指導…< >に該当する教科を入力する。

次	時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評価規準（評価方法）<教科>
1次		○11 びきのねこのお話を聞いて、物語の内容を理解する。	
	1	・教師の読み聞かせを聞き、お話について思いをもつ。	・自分の思いを教師や友達に伝えることができる。（発言・対話）<国語>
	2	・教師が物語を演じているのを見て、お話のすじを知る。	・・・・（ワークシート）<国語>
	3	・教師の支援を受けながら、音楽に合わせて体を動かす。	・・・・（観察）<音楽>
2次		○大きな魚の制作を通して、自分の使いたい道具や色を選ぶことができる。	
	4	・大きな魚の下絵に、手やローラーを使ってひれをつける。	・進んで大きな魚にひれをつけようとしている。（観察）<図画工作>
	5	本時は太枠で囲む。	
	6		

- ・本時で身に付けさせたい資質・能力を、身に付けている児童生徒の具体的な姿を記述する。（評価方法も記述する）

6 本時の計画（4時間目／全〇時間）

(1) 本時のねらい

(例) ○〇について、△△することを通して、□□することができる。

- ・単元の目標を具体化し、この授業を終えた時に児童（生徒）がどのような姿になることが望ましいのか、どのような力が身に付いていけばよいのかを記述する。
- ◇「○〇について」は、本時の学習内容や学習課題などについて記述する。
- ◇「△△することを通して」は、目指す姿にするための学習活動や手立てを記述する。
- ◇「□□できる」は、本時で目指す児童生徒の姿を記述する。
- ※ 個々にねらいが異なる場合や自立活動の場合は、それぞれについて記述する。

(2) 本時の構想

- ・ねらいの達成にむけて、本時における具体的な手立てや指導の留意事項を記述する。
- ・児童生徒の主体的な学習活動が促されるように本時において工夫する点を記述する。

(3) 本時の目標と手立て

※抽出児童・生徒について、2人以上記述する。

	児童（生徒）の実態	本時の目標	主な手立て
A 〇年	・教科（遊びの指導は題材）に関わる実態 ・本時の目標にかかわる前時までの実態や達成状況を記述する。	・教科（遊びの指導は題材）に関わる目標 ・単元（題材）の評価規準と照らし合わせて、抽出児童生徒の本時で目指す姿を具体的に記述する。 ・抽出児童生徒について、個別の目標（準ずる教育の場合は全体の目標）と、個々が目標達成に至る手立てを記述する。 ※この実態→この手立て→本時の目標を達成	
B 〇年			

< 自立活動の場合 > 本時の目標と手立て

※個々の児童・生徒について記述する。

	児童（生徒）の実態	本時の目標	主な手立て
A 〇年	・自立に関わる実態【3-(2)】 ・本時の目標にかかわる前時までの実態や達成状況、自立の実態を記述する。	・自立に関わる目標【3-(4)・2-(2)】 ・選定した自立活動の内容（6区分27項目）を【 】内に記述する。	
B 〇年			

(4) 抽出児童（生徒）について

- ・抽出児童生徒にした意図を記述する。

(5) 本時の展開

※Ver. 1 か Ver. 2 か選択する。

Ver. 1

学習活動	教師の働き掛け（MTはT 1、T 2…、●＝ST）と 予想される児童の反応	■評価・○留意点
導入（10 分） 1 ……する。 ・児童生徒を主 語とする。問 題解決的な学 習過程で、ど んな活動を行 うのかを、 「1…す る。」のよう に活動内容に 番号を付けて 記述する。 ・各学習活動に かける時間を 記述する。	T1: C: B: ・学習内容、教師の働きかけ、児童 C （生徒 S）の反応について記述する。 ・抽出は A、B で記述する。 ●ST の働き掛けを記述する。	○ ……。 ○ ……。 ……。
展開（25 分） 2 3	本時のねらいを達成するための学習課題は太枠で囲む。	○指導上留意する点や 必要な支援等につい て記述する。 ■本時で身に付けさせ たい資質・能力を身 に付けている児童生 徒の具体的な姿を記 述する。
終末（10 分） 4 ……	学習のまとめを太枠で囲む。	■ ……。 ……。

(6) 本時の評価

抽出 A	・評価基準に基づき、ねらいを達成した姿を、「おおむね満足できる状況（B 評価）」について具体的な児童（生徒）の姿として記述する。
抽出 B	

(7) 環境構成図

座学の場合は板書計画を記載する。

(5) 本時の展開

※Ver. 1 か Ver. 2 か選択する。

Ver. 2

学習活動	○教師の働き掛けと予想される児童（生徒）の反応				■評価基準	○留意点
導入（10分） 1 本時の学習課題を知り、見通しをもつ	A	B・F	C	D・E		・同じような評価基準の児童生徒や学習活動が同じ場合は、グループとして表してもよい。
・児童生徒が主語。学習活動と内容に番号をつけて記述する。	MT：準備の活動への見通しをもたせるために、衣装を着けてお祭りの音楽に合わせて登場する。 「みなさん！こんにちは。ぼく○○です。今日もぼくたち11ぴきのねこと一緒に遊ぼう。」					
	○ST1	・MTが全員に働き掛ける場合は、このように記述する。				
展開（25分） 2	本時のねらいを達成するための学習課題は太枠で囲む。学習課題は導入段階で記述する場合もある。					
3	・ST1、ST2などの記号で誰がどの児童生徒を支援するのか明確にする。	○ST2				
終末（10分） 4	学習のまとめを太枠で囲む。					
	・評価規準に基づき、概ね満足できる状態を児童生徒の姿で具体的に記述する。（B評価基準）					